

エコアクション 21

環境経営レポート



対象期間：2022年10月～2023年9月

発行日：2023年10月31日



あす
未来の地球に
持続可能な
環境を創る企業

加藤商事株式会社

1. 組織概要

- 事業者名：加藤商事株式会社
- 設立年月：1960(昭和 35)年 4 月
- 資本金：4050 万円
- 所在地：本社・工場 / 東京都東村山市恩多町 1-12-3
赤坂営業所 / 東京都港区赤坂 4-4-14
東大和営業所 / 東京都東大和市奈良橋 5-812-21
町田営業所 / 東京都町田市南町田 1-4-4
秋津事業所 / 東京都東村山市秋津町 3-44-6
八王子営業所 / 東京都八王子市子安町 1-28-7 新明荘 7 号室
- 事業規模：
 - 売上：1,712 百万円 第 64 期（令和 4 年 10 月 1 日～令和 5 年 9 月 30 日）
 - 従業員数：169 名
- 事業概要：①一般廃棄物・産業廃棄物・特別管理産業廃棄物収集運搬
②一般廃棄物・産業廃棄物中間処理（容器包装プラスチック・ペットボトル）
③貯水槽・汚雑排水槽及び屋内外排水管清掃
④一般建設工事・営繕工事
⑤環境コンサルティング
- 環境管理責任者及び担当者の連絡先：

○環境管理責任者

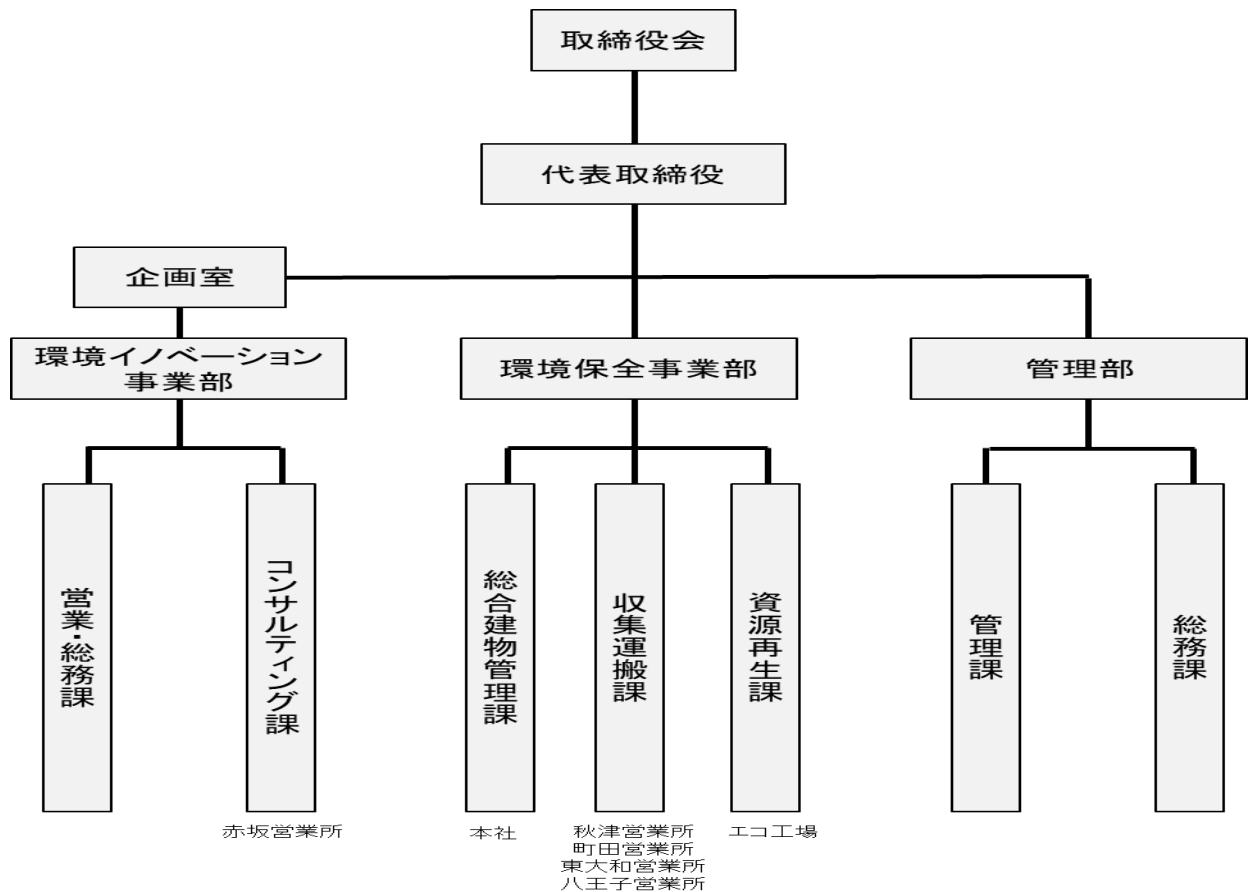
所属	役職	氏名	連絡先
環境イノベーション事業部	部長	濱松 直親	042-392-1001

○担当者（EA 事務局）

所属	役職	氏名	連絡先
環境イノベーション事業部	次長	川原 道孝	042-392-1001
環境保全事業部	次長	嶋崎 淳	042-392-1001
環境イノベーション事業部 コンサルティング課	課長	野口 直美	03-6277-7187

2. 対象範囲（認証・登録の範囲）

- 全組織を対象とします。



■ 活動の対象範囲

対象範囲	活動（※1）
営業・総務課	① ② ③ ④ ⑤
コンサルティング課	① ② ③ ④ ⑤
総合建物管理課	① ② ③ ④ ⑤
収集運搬課	①
資源再生課	②
管理課	① ② ③ ④ ⑤
総務課	① ② ③ ④ ⑤

※1 1 ページ事業概要の番号を参照

3. 許可・施設の状況

■ 施設の状況（収集運搬業）

車両種類	台数	車両種類	台数
3t パッカー車	48台	4t アームロール車	1台
2t 資源回収車	8台	3t トラック車	1台
2t バキューム車	2台	10t 天蓋車	3台
4t バキューム車	2台	10t アームロール車	2台
4t ダンプカー	1台	フォークリフト	4台
4t クレーン車	1台	3t ウイング車	1台

■ 施設の状況（積替え保管）

積替え保管面積・高さ	処理する廃棄物の種類	処理能力
面積 61.6 m ² 高さ 0.85m	廃プラスチック類・混合物 金属くず	0.4 m ³ 0.4 m ³

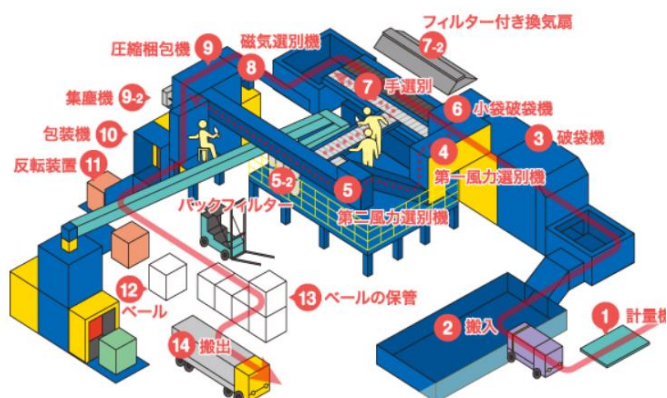
■ 施設の状況（中間処理業）

中間処理施設の種類の	処理する廃棄物の種類	処理能力
圧縮・梱包	廃プラスチック	(一廃) 92.3t/日 (産廃) 40.0t/日

■ 処理工程図（中間処理業）



容器包装プラスチックリサイクルライン

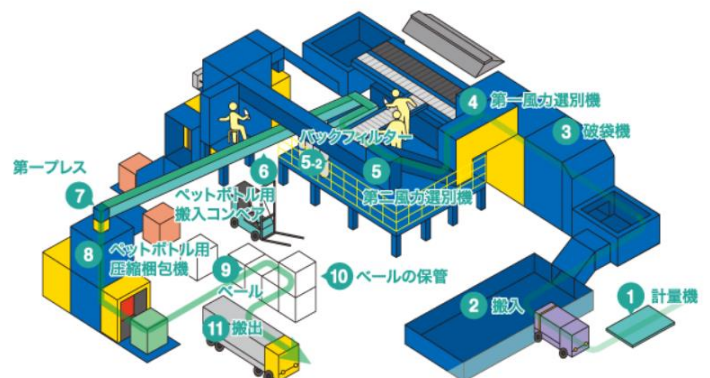


容器包装プラスチックリサイクルライン

1.計量機 / 2.搬入 / 3.破袋機 / 4.第一風力選別機 / 5.第二風力選別機 / 5-2.バックフィルター
6.小袋破袋機 / 7.手選別 / 7-2.フィルター付き換気層 / 8.磁気選別機 / 9.圧縮梱包機
9-2.集塵機 / 10.包装機 / 11.反転装置 / 12.ペール / 13.ペールの保管 / 14.搬出



ペットボトルリサイクルライン



ペットボトルリサイクルライン

1.計量機 / 2.搬入 / 3.破袋機 / 4.第一風力選別機 / 5.第二風力選別機 / 5-2.バックフィルター
6.ペットボトル用搬入コンベア / 7.第一プレス / 8.ペットボトル用圧縮梱包機
9.ペール / 10.ペールの保管 / 11.搬出

■ 一般廃棄物許可の取得状況

許可名称	許可番号	許可年月日	許可の有効年月日	事業の範囲
東京都一般廃棄物処理施設	一施第 1001 号	平成 19 年 2 月 15 日 (変更：令和 3 年 12 月 3 日)	—	中間処理 (廃プラスチック類)
東村山市一般廃棄物収集運搬業	許可第 1 号	令和 6 年 4 月 1 日	令和 8 年 3 月 31 日	収集・運搬（保管積替え及び積置きを除く） (一般廃棄物・特定家庭用機器一般廃棄物)
東村山市一般廃棄物収集運搬業	許可第 1 号	令和 6 年 4 月 1 日	令和 8 年 3 月 31 日	収集・運搬（保管積替え及び積置きを除く） (一般廃棄物（し尿及び浄化槽に係る汚泥）)
東大和市一般廃棄物収集運搬業	許可第 2 号	令和 6 年 4 月 1 日	令和 8 年 3 月 31 日	収集・運搬（一般廃棄物）
東大和市浄化槽清掃業	許可第 1 号	令和 6 年 4 月 1 日	令和 8 年 3 月 31 日	浄化槽清掃
清瀬市一般廃棄物収集運搬業	許可 O2 第 1 号	令和 6 年 4 月 1 日	令和 8 年 3 月 31 日	収集・運搬 (事業系・家庭系一般廃棄物)
清瀬市浄化槽清掃業	許可浄化槽第 1 号	令和 6 年 4 月 1 日	令和 8 年 3 月 31 日	浄化槽清掃
東久留米市一般廃棄物収集運搬業	2 許可第 4 号	令和 6 年 4 月 1 日	令和 8 年 3 月 31 日	収集・運搬 (事業系一般廃棄物・特定家庭用機器再商品化法対象商品)
小平市一般廃棄物収集運搬業	許可第 33 号	令和 5 年 2 月 1 日	令和 7 年 1 月 31 日	収集・運搬（事業系一般廃棄物（積替・保管を除））
武蔵村山市一般廃棄物収集運搬業	許可第 64 号	令和 5 年 3 月 16 日	令和 7 年 3 月 15 日	収集・運搬（事業系一般廃棄物（剪定枝））

■ 産業廃棄物（処分業）許可の取得状況

自治体名	認定	許可番号	許可年月日	有効年月日	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	ゴムくず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ
東京都	優良	第 1320031111 号	令和 4 年 3 月 22 日	令和 11 日 3 月 22 日						○										

■ 産業廃棄物（収集運搬業）許可の取得状況

自治体名	認定	許可番号	許可年月日	有効年月日	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	ゴムくず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ
福島県	優良	第 00707031111 号	令和 3 年 1 月 13 日	令和 13 年 7 月 31 日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
群馬県	優良	第 01000031111 号	平成 27 年 9 月 15 日	令和 11 年 9 月 14 日	○	○	○			○		○	○	○	○		○	○	○	○
埼玉県	優良	第 01102031111 号	平成 29 年 11 月 13 日	平成 36 年 11 月 12 日	○	○	○			○		○	○		○		○	○	○	○
千葉県	優良	第 01200031111 号	平成 28 年 9 月 1 日	令和 12 年 8 月 31 日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
東京都	優良	第 01310031111 号	平成 30 年 1 月 1 日	令和 6 年 12 月 31 日	○	○	○	○	○	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○
神奈川県	優良	第 01402031111 号	令和元年 8 月 21 日	令和 8 年 5 月 31 日	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○	○	○
山梨県	優良	第 01900031111 号	令和元年 7 月 1 日	令和 8 年 6 月 30 日	○	○														
栃木県		第 00900031111 号	令和 5 年 6 月 13 日	令和 10 年 6 月 12 日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
茨木県		第 00801031111 号	令和 5 年 6 月 23 日	令和 10 年 6 月 23 日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：収集・運搬業の許可あり（積替え保管無し） ●：収集・運搬業の許可あり（積替え保管有り）（面積：61.5㎡、保管上限量：0.8㎡）

特別管理産業廃棄物（収集運搬業）許可の取得状況

自治体名	認定	許可番号	許可年月日	有効年月日	廃油	廃酸	廃アルカリ	ばいじん	燃え殻	汚泥	廃PCB等	PCB汚染物等	PCB処理物等
福島県	—	第00757031111号	令和3年1月13日	令和8年1月12日	○	○	○	○	○	○	○	○	
茨城県	—	第00851031111号	令和4年1月7日	令和11年1月6日	○	○	○	○	○	○	○	○	○
栃木県	—	第00950031111号	令和4年11月21日	令和11年11月20日	○	○	○	○	○	○	○	○	
群馬県	優良	第01050031111号	令和3年9月27日	令和10年9月26日	○	○	○	○	○		○	○	
埼玉県	優良	第01150031111号	令和2年11月13日	令和9年11月12日	○	○	○				○	○	
千葉県	優良	第01250031111号	令和2年12月9日	令和9年12月8日	○	○	○	○	○	○	○	○	○
東京都	優良	第1350031111号	令和2年10月26日	令和9年10月25日	○	○	○	○	○	○	○	○	○
神奈川県	優良	第01450031111号	令和2年12月4日	令和9年12月3日	○	○	○	○	○	○	○	○	○

■ 受託処理実績

種類・区分		2020年度 (第61期)	2021年度 (第62期)	2022年度 (第63期)	2023年 (第64期)
産業廃棄物	収集運搬	637.8t	482.1t	1,169.4t	12,700.6t
	中間処理	処理実績なし			

※汚泥比重換算値：1.1t／m³

4. 環境経営方針

《 環境経営方針 》

< 基本理念 >

加藤商事株式会社は、社員一人ひとりが地球環境を整備・保全することの一端を担い、次世代の人類が自然と調和のとれた安心かつ快適な生活が出来るよう、「未来の地球に持続可能な環境を創る」ことをスローガンとする企業である。

< 方針 >

1. 環境経営の継続的改善

当社の活動、製品、サービスが関わる環境側面を常に認識し、環境保護・環境負荷の低減及び汚染の予防に努めます。また、環境経営方針、環境経営目標を定めて環境保全活動ならびに事業を推進します。これらは定期的に見直し、環境パフォーマンスを向上させるために環境経営の継続的改善に努めます。

2. 法令およびその他の要求事項の遵守

法規制・条例はもとより、業界における行動規範又はその指針・協定及び官公署との同意事項についても、これを順守します。

3. 社内教育の充実

全従業員が環境管理活動を理解し、本方針に則した活動が行えるよう社内教育を推進します。

4. 環境管理重点テーマ

以下の項目を当社の環境管理重点テーマとして取り組みます。

- ① 【全社】2050年までに当社のCO2排出量実質ゼロを目指します。
- ② 【環境保全事業部】廃棄物の適正処理・リサイクル率の向上に貢献します。また、事故ゼロに努め、地域を守る存在としての役割を果たします。
- ③ 【環境イノベーション事業部】環境分野の専門家としての力量を積み重ねることで、新たな環境関連サービスの提供や、顧客及び社会に対する啓発活動を行います。
- ④ 【管理部】環境負荷や環境管理活動を可視化し、全従業員が環境管理活動・地域貢献活動に取り組める仕組みや体制を構築します。

5. 周知と公開

環境方針は全従業員に周知します。また、外部からの要求に対していつでも開示します。

制定：令和3年10月1日

改訂：

加 藤 商 事 株 式 会 社

代表取締役 **加藤宣行**

5. 環境経営目標

目標項目			基準年	目標値				
			62期 (2020年度)	63期 (2021年度)	64期 (2022年度)	65期 (2023年度)	66期 (2024年度)	67期 (2025年度)
①CO2排出量の削減	CO2排出量の削減	kg-CO2	809,331	768,864	728,398	687,931	647,465	606,998
				(基準値比5%削減)				
	電力使用量の削減	kWh	307,548	304,473	301,397	298,322	295,246	292,171
				(基準値比1%削減)				
	軽油使用量の削減	L	217,529	215,354	213,178	211,003	208,828	206,653
			(基準値比1%削減)					
②ごみの分別			事務所ごみの分別徹底を図る。併せて、可燃ごみの計量方法の確立し、第65期以降可燃ごみの削減に取り組むことを目指す。					
③水使用量の削減		m3	3,114	2か月に1度使用量を確認するとともに、節水に努める。				
④廃棄物リサイクル量の向上		資源搬出量：t	8,913	資源搬出実績の把握、全市の容器包装プラスチック及びペットボトルパールのAランク取得				
			【プラ】A：3市、 B：1市 【PET】A：3市					
⑤社員教育			教育訓練計画表に基づき、教育訓練の確実な実施を目指す。					
⑥地域貢献活動			地域イベントへの積極的な参加、環境教育・工場見学の受入、清掃活動等を実施する。					
⑦顧客満足度の向上			第63期は顧客満足度の把握を行い、第64期以降の顧客満足度の向上を目指す。					
⑧顧客の環境負荷低減に貢献できる 商材・サービスの提供	売上目標の達成 ：千円		180,000	176,000				
			売上目標の達成					
⑨業務管理の徹底・数字の可視化			新管理システムの更新フォローを実施する。産廃報告、契約管理、マニフェスト管理の効率化を図る。					
⑩グリーン購入の促進			資材や消耗品購入時、環境を考慮して必要性をよく考え、環境への負荷ができるだけ少ないものを選んで購入する。					

※電気の二酸化炭素排出係数：パシフィックパワー 0.613kg-CO2/kWh、東京電力パートナーズ 0.441kg-CO2/kWh、グリーンナ 0kg-CO2/kWh

※目標達成状況評価基準：○ 達成、△ 一部達成、× 未達成

6. 環境経営計画

取組目標	活動項目	責任者	実施時期
①CO2排出量の削減			
CO2排出量の削減	・再生可能エネルギー由来の電力の採用	環境イノベーション事業部 川原	2022年1月～
電力使用量の削減	・空調機の更新		2022年3月
	・不要照明の消灯 ・OA機器の節電（不使用時は電源オフまたは省電力モード）		2022年10月～
	・空調温度の適正化（夏季28℃、冬季20℃）		夏季：5月～10月 冬季：11月～3月
	・クールビズ、ウォームビズの実施		クールビズ：5月～10月 ウォームビズ：11月～3月
軽油使用量の削減	・エコドライブの教育・実施等 ・効率的なルートでの移動 ・車両の不備点検	収集運搬課 増田	2023年10月～
②ごみの分別	・事務所ごみの分別の徹底 ・可燃ごみの計量方法の確立	環境保全事業部 嶋崎	2023年10月～
③水使用量の削減	・2か月に1度の使用量の確認 ・節水に努める	資源再生課 樋代	2023年10月～
④廃棄物リサイクル量の向上	・機械増設及び作業員増員と定期的な社内検査の実施 ・作業員の機械に対する知識・技術の習得		2023年10月～
⑤社員教育	・教育訓練の確実な実施 ・新役職者の任命、役職者教育の実施	資源再生課 樋代 収集運搬課 増田	2023年10月～ (教育訓練計画表参照)
⑥地域貢献活動	・地域イベントへの積極的な参加 ・環境教育、工場見学の実施 ・清掃活動の実施		2023年10月～
⑦顧客満足度の向上	・顧客満足度の把握	総合建物管理課 小川、荒井	2022年9月
⑧顧客の環境負荷低減に貢献できる商材・サービスの提供	・省エネ商材の顧客提案 ・PCB廃棄物適正処理の顧客提案 ・廃プラリサイクルの顧客提案 ・CO2ゼロ電力の顧客提案 ・環境関連の調査業務等の受託	コンサルティング課 野口	2022年10月～
⑨業務管理の徹底・数字の可視化	・新管理システムの更新フォローの実施 ・産廃報告、契約管理、マニフェスト管理の効率化	管理部 堀井	2023年10月～
⑩グリーン購入の促進	・資材や消耗品購入時、環境を考慮して必要性をよく考え、環境への負荷ができるだけ少ないものを選んで購入する。		

7. 実施体制と役割・責任・権限

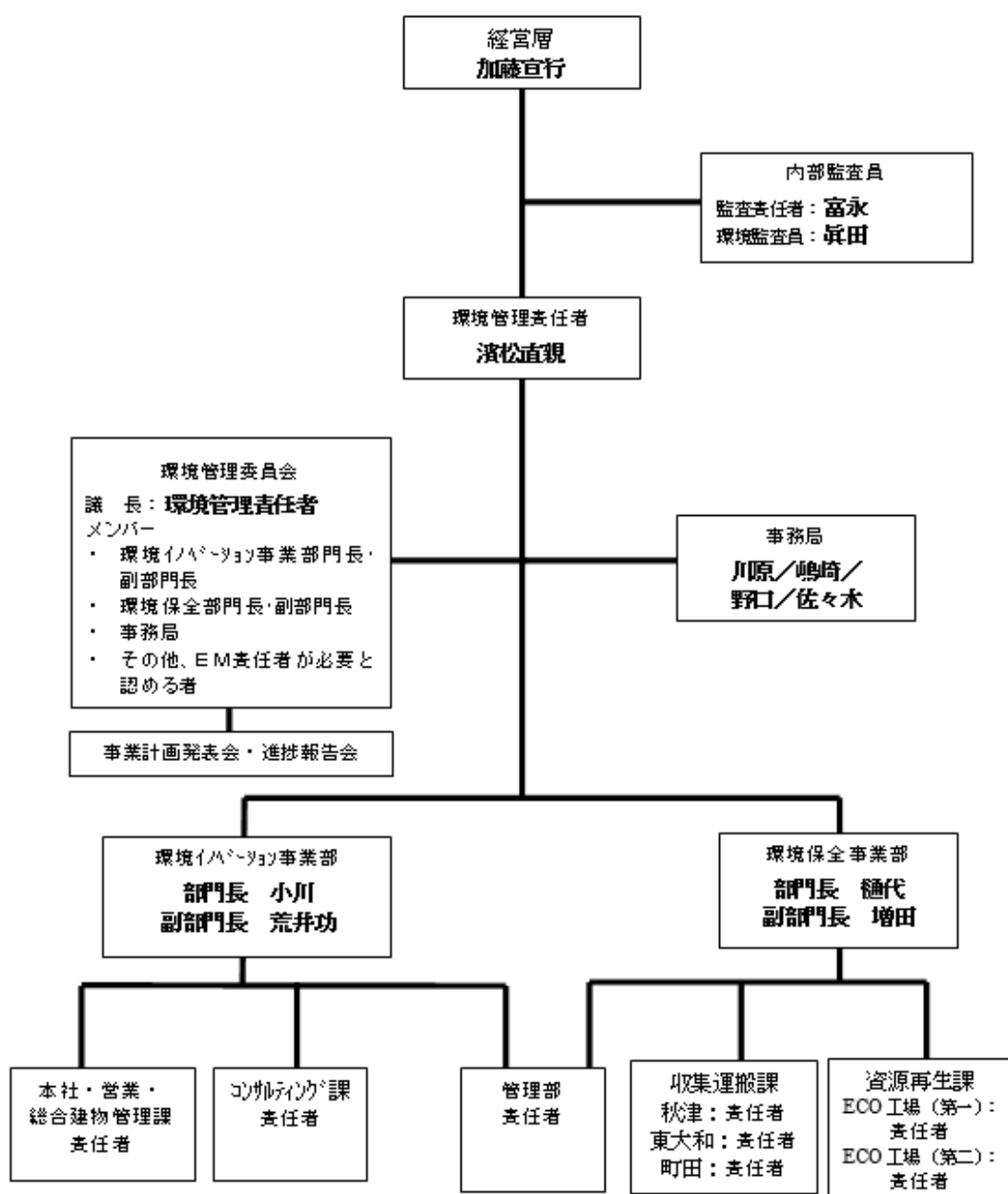
■ 実施体制

実施体制表

更新審査（2年）毎に実施体制の見直しを実施し、EA21の社内浸透を目指す。

作成日：2021年10月1日

作成者：経営層 加藤宣行



■ 役割・責任・権限

職・組織名	役割・責任・権限
経営層	環境経営に関する統括責任／環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源の準備／環境管理責任者の任命／環境方針の策定、見直し／代表者による全体の評価と見直し、環境管理責任者への指示／環境経営レポートを承認／課題とチャンスの表明
環境管理責任者	環境経営システムの構築、実施、管理／環境経営目標、環境経営計画を承認／環境関連法規等の一覧表の承認、遵守状況の確認の実施／環境経営計画の取組結果の代表者への報告／環境経営レポートの確認／当社の環境保全活動の責任者／環境管理委員会の議事進行
事務局	環境管理責任者の補佐／環境経営システムの運用の推進／環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施／環境経営目標、環境経営計画の原案の作成／内部監査計画書の策定／環境活動の実績集計／環境関連法規等の一覧表の作成及び最新版管理／環境経営レポートの作成、公開（地域事務局への送付）／環境管理委員会のセッティング／文書及び記録の管理／環境関連の外部コミュニケーションの窓口
環境管理委員会	環境経営目標、環境経営計画の審議の場／環境関連の問題点の発見や情報共有の場
事業計画発表会 ・進捗報告会	経営層による環境経営方針の社内周知の場／環境管理責任者による環境経営目標、環境経営計画策定時の社内発表の場／環境管理責任者による環境経営目標、環境経営計画の進捗報告の場／環境管理責任者による環境経営目標、環境経営計画の取組結果報告の場
各部門長	自部門における環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画の周知／自部門の従業員に対する教育訓練の実施指示、事務局への報告／自部門の環境経営計画の取組の確認、評価、事務局への報告／自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施／自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書の作成／自部門に関連する法規等の遵守／自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
各副部門長	部門長の補佐／自部門の環境経営計画の取組の確認、評価
各部署担当者	自部署の環境経営計画の取組の確認、評価／自部署に関連する法規等の遵守／自部署の従業員に対する教育訓練の実施サポート、記録の作成、部門長への報告
内部監査員	内部監査の実施、報告
全従業員	環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画の理解と各部門長、副部門長、部署長の指示に基づく行動の実施

8. 環境経営目標の実績

環境経営目標の達成結果

目標項目			基準年	目標値	実績値	評価	
			62期（2020年度）	64期（2022年度）	64期（2022年度）		
①CO2排出量の削減	CO2排出量の削減	kg-CO2	809,331	728,398 （基準値比10%削減）	588,497		
	電力使用量の削減	kWh	307,548	301,397 （基準値比2%削減）	310,599	×	
	軽油使用量の削減	L	217,529	213,178 （基準値比2%削減）	196,508	○	
②ごみの分別			事務所ごみの分別徹底を図る。併せて、可燃ごみの計量方法の確立し、第65期以降可燃ごみの削減に取り組むことを目指す。			—	○
③水使用量の削減			3,114	2か月に1度使用量を確認するとともに、節水に努める。	3,220	×	
			8,913	資源搬出実績の把握、全市の容器包装プラスチック及びペットボトルペールのAランク取得	7,999		
④廃棄物リサイクル量の向上			資源搬出量：t	【プラ】 A：8市、B：1市 【PET】 A：8市	各市プラ・ペット全てBランク	×	
⑤社員教育			教育訓練計画表に基づき、教育訓練の確実な実施を目指す。			—	△
⑥地域貢献活動			地域イベントへの積極的な参加、環境教育・工場見学の受入、清掃活動等を実施する。			—	○
⑦顧客満足度の向上			第63期は顧客満足度の把握を行い、第64期以降の顧客満足度の向上を目指す。			—	○
⑧顧客の環境負荷低減に貢献できる 商材・サービスの提供			売上目標の達成 ：千円	200,000	208,682	○	
⑨業務管理の徹底・数字の可視化			新管理システムの更新フォローを実施する。産廃報告、契約管理、マニフェスト管理の効率化を図る。			—	×
⑩グリーン購入の促進			資材や消耗品購入時、環境を考慮して必要性をよく考え、環境への負荷ができるだけ少ないものを選んで購入する。			—	×

※電気の二酸化炭素排出係数：パシフィックパワー 0.613kg-CO2/kWh、東京電力パートナーズ 0.441kg-CO2/kWh、グリーンナ 0kg-CO2/kWh
※目標達成状況評価基準：○ 達成、△ 一部達成、× 未達成

【未達成項目の要因等】

①電力使用量の削減：

ごみ処理量が増加し、工場稼働率が上昇したため

③水使用量の削減：

赤坂営業所の水道配管に漏水が発見された。

⑨業務管理の徹底・数字の可視化：

システム稼働が完了していないため

⑩グリーン購入の促進

現在は、促進を中止している

9. 環境経営計画の実績・取組結果

環境経営計画の実施結果			
取組目標	活動項目	第64期 活動項目の実施状況	評価・結果
①CO2排出量の削減			
CO2排出量の削減	・再生可能エネルギー由来の電力の採用	・（本社）再生可能エネルギー由来の電力を引き続き契約	○
電力使用量の削減	・空調機の更新	・大会議室、執務室、応接室の空調更新済み	○
	・不要照明の消灯	・昼休みの消灯を実施	○
	・OA機器の節電（不使用時は電源オフまたは省電力モード）	・OA機器はエコモードに設定	△
	・空調温度の適正化（夏季28℃、冬季20℃）	・実施中だが、コロナウィルス感染防止対策による換気の必要性により、エアコン、扇風機などを併用	○
	・クールビズ、ウォームビズの実施	・6月よりクールビズ、12月よりウォームビズの実施中	○
軽油使用量の削減	・エコドライブの教育・実施等	・デジタルタコグラフ結果による運転指導の実施	○
	・効率的なルートでの移動	・稼働台数、ルートの見直しを実施し地図化、定型化した（継続）	△
	・車両の不備点検	・計画的な法令点検の受験	△
②ごみの分別	・事務所ごみの分別の徹底	・ごみ保管庫への啓発掲示	△
	・可燃ごみの計量方法の確立	・各所の排出量を袋数にて把握	×
③水使用量の削減	・2か月に1度の使用量の確認	・使用量の確認、記録を実施	○
	・節水に努める	・工場内水道へ節水啓発掲示	○
④廃棄物リサイクル量の向上	・機械増設及び作業員増員と定期的な社内検査の実施	・機械と作業員の増設増員は未達成。社内検査は実施できました。	△
	・作業員の機械に対する知識・技術の習得	・社員により選別員の個別指導を実施	○
⑤社員教育	・教育訓練の確実な実施	・工場作業用指示書の周知実施（別添資料あり）	○
	・新役職者の任命、役職者教育の実施	・毎年3月を目途に指示書内容を更新するため、4月以降に順次実施し各自より押印 ・役職の計画は立てたが、実現せず。	×
⑥地域貢献活動	・地域イベントへの積極的な参加	・学校や施設の工場見学対応	○
	・環境教育、工場見学の実施	・定期的な工場見学の受入対応。	○
	・清掃活動の実施	・地域清掃は隔週月曜日に実施	○
⑦顧客満足度の向上	・顧客満足度の把握	・顧客満足度の把握に向けてアンケート（案）を検討	×
⑧顧客の環境負荷低減に貢献できる商材・サービスの提供	・省エネ商材の顧客提案	・省エネ商材、PCB廃棄物適正処理の顧客提案、	○
	・PCB廃棄物適正処理の顧客提案	・廃プラリサイクルの顧客提案数増加	○
	・廃プラリサイクルの顧客提案	・CO2ゼロ電力はエネルギー価格高騰の影響により取扱中止	△
	・CO2ゼロ電力の顧客提案	・環境関連の調査業務5件受託	△
	・環境関連の調査業務等の受託	・試験運用の実施。カスタマイズ箇所の絞り込み	△
⑨業務管理の徹底・数字の可視化	・新管理システムの更新フォローの実施	・試験運用の実施。カスタマイズ箇所の絞り込み	△
⑩グリーン購入の促進	・産廃報告、契約管理、マニフェスト管理の効率化	・資材や消耗品購入時、環境を考慮して必要性をよく考え、環境への負荷ができるだけ少ないものを選んで購入する。	△
	・資材や消耗品購入時、環境を考慮して必要性をよく考え、環境への負荷ができるだけ少ないものを選んで購入する。	・資材や消耗品購入時、環境を考慮して必要性をよく考え、環境への負荷ができるだけ少ないものを選んで購入する。	△

10. 環境関連法規などの遵守状況

法令等内容	遵守状況	法令等内容	遵守状況
廃棄物処理法	○	容器包装リサイクル法	○
自動車 NOx・PM 法	○	毒物及び劇物取締法	○
東京都環境確保条例	○	浄化槽法	○
家電リサイクル法	○	フロン排出抑制法	○
自動車リサイクル法	○	電気工事士法	○
貨物自動車運送事業輸送安全規則	○	建築物衛生法	○
道路運送車両法施行規則	○	酸素欠乏症等防止規則	○
計量法	○	建設業法	○
騒音規制法	○	東京都給水条例	○
東京都環境確保条例	○	消防法	○
振動規制法	○	地球温暖化対策報告書制度	○
建築基準法	○	PCB 特措法	○
悪臭防止法	○		

■ 違反、訴訟などの有無：無し

1 1. 代表者による全体の評価と見直し・指示

代表者による全体評価と見直しの結果

第64期

作成日 2023年10月25日

種 別	定 期 ・ 臨 時
-----	-----------

1. 情報の収集と分析

見直しに必要な情報	資料の有無	環境管理責任者のコメント・提案
① 環境経営目標の達成状況	☒ 有 ☐ 無	電力については受入れの増量で、電気使用量は目標より約3%増えています。軽油については約8.5%の削減になっています。電気使用量は良く注視してください。廃棄物リサイクルについても同様です。
② 取組状況の評価結果	☒ 有 ☐ 無	評価結果の点数は63期と同様満足いくものではありません。再度検討をお願いします。
③ 環境関連法規等の遵守状況	☒ 有 ☐ 無	法令遵守できています。
④ 問題の是正処置及び予防処置の結果	☐ 有 ☒ 無	問題は特にありません。
⑤ エコアクション21 内部監査の状況	☒ 有 ☐ 無	内部監査で指摘された事項の改善してください（環境委員会の定期的な開催と周知と教育）
⑥ 前回までの代表者の指示事項への対応	☐ 有 ☒ 無	改善事項とエコアクション21については対応済みですが、CO2の具体的な削減方法の計画が立案されていません。
⑦ 外部からの苦情等の受付結果	☐ 有 ☒ 無	無し
⑧ その他	☐ 有 ☒ 無	無し

2. 変更の必要性・指示事項

項目	変更の必要性	指示事項
① 環境経営方針	☐ 有 ☒ 無	変更はないので継続をお願いします。
② 環境経営目標	☐ 有 ☒ 無	変更はないので達成することをお願いします。
③ 環境経営計画	☐ 有 ☒ 無	変更はないですが、教育と周知をお願いします。
④ 実施体制	☐ 有 ☒ 無	変更はないので継続をお願いします。

3. 総合評価

- ・エコアクションの取組は3年目となります。CO2 排出量削減については評価します。引き続き削減できるよう検討してください。また、目標達成がされない部分があるので、その課題を分析して改善可能なところは行ってください。また、改善不可能な部分は目標を変更してください。
- ・内部監査では、エコアクション21の環境委員会の開催について指摘されています。定期的な委員会を開催してPDCAを回してください。また、環境経営方針について、目標等従業員に対し周知と教育ができていない不適合も上がっています。新入社員には特に周知をし、一人一人の意識向上するよう努力してください。
- ・災害での安否確認の訓練については評価します。収集現場での緊急事態に対する訓練も検討してください。
- ・廃プラスチックについては、引き続き自治体や排出者とのコミュニケーションを深めリサイクルの高度化を推進してください。